

## 平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124120	市民団体等活動支援事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-2	参画・協働のまちづくり			
	施策	2	公益的活動への支援			
目的	市民団体等が自主的に実施する公益的な活動を支援する					
対象	市内を拠点とし活動する市民活動団体など共通の目的を持った市民で構成された団体					
意図	市民が行う公益的活動を支援することにより、市民団体等を守り育てる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="radio"/> 市民団体等活動支援 市民団体等が新たに取り組む公益的な活動に対する補助等 (補助率3分の2、上限300千円、同一事業につき3か年まで) <input type="radio"/> 市民団体等の活動周知 市民団体等活動紹介電子ブック作製						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成	事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	補助事業を活用した市民団体等数	回	計画	10	10	
			実績	7	7	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	この1年間にボランティア団体やNPO法人の活動に参加した市民の割合【まちづくり市民アンケート】	%	目標	30.0	30.0	
			実績	55.8	53.2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が行う公益的活動に参加した市民の割合は、「年に数回」が最も高く42.2%、次いで「月に1回程度」で7.1%、「週に1回程度」が3.1%、「毎日」が0.8%となっており、合計で53.2%と平成28年度以降、目標値の30%を大きく上回る50%台の高水準で推移している。このことは、市民のボランティアなど公益活動に対する関心の高さが表れているものと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	様々な市民団体等が新たな活動に取り組み、軌道に乗るまでの支援として実施する補助事業であり、市民の公益的活動を盛んにするために不可欠な事業である。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	数多くの団体に活用していただくこと、広報はなまきやホームページで情報発信することにより、より市民の間に浸透していくことが期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は必要最小限であり市民の公益的活動を積極的に支援する必要があることから、削減の余地はない。また、人件費は担当職員の研修出張旅費のみを計上しており、削減の余地がない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	制度の周知及び支援を必要とする団体の掘り起こしが課題である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
市民団体等活動支援事業補助金により市民の積極的な公益活動を資金面で支援するとともに、市民向けの活動周知を行うことにより、市民と市との協働の推進を図っていくことが今後も必要である。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	124120	市民団体等活動支援事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,707	2,058		351
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,707	2,058		351

※特定財源の内訳

--

事業期間  単年度繰返  期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標  
参画・協働機会の拡充

事業開始の背景・経緯  
平成19年度に花巻市総合計画に定めるまちづくりの基本理念「市民参画・協働のまちづくり」を目指し、市民団体等の活動を促進し、支援していくことを目的に市民団体等自ら行う公益的活動に補助金を交付し、財政的に支援するため制度を創設した。

事業概要  
○市民団体等活動支援  
市民団体等が新たに取り組む公益的活動に対する補助等  
(補助率3分の2、上限300千円、同一事業につき3か年まで)  
○市民団体等の活動周知  
市民団体等活動紹介電子ブック作製

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)  
市民団体等活動支援事業補助金についてさらなる周知を望む意見が出されている。(H29.9議会定例会)

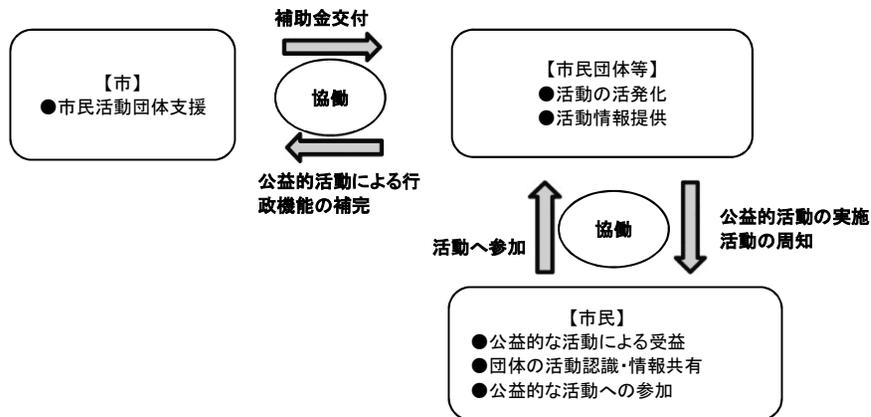
担当部署 部名 地域振興部 課名 地域づくり課 担当係長 上山亜貴 内線 457

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 市民団体等活動支援事業補助金 補助金 1,679千円

市民団体等が新たに取り組む公益的活動に対する補助  
補助金上限額 30万円(1団体当たり)  
補助率 補助対象事業費の2/3以内  
同一事業につき、3か年まで  
※過去3年間の実績  
H27: 7件、1,466千円  
(いしどりやワンダースクール実行委員会、エンジョイススポーツクラブはなまきなど)  
H28: 9件、2,043千円  
(花巻カップ協会、エンジョイススポーツクラブはなまきなど)  
H29: 7件、1,322千円  
(花巻カップ協会、アクティブP&Cなど)  
H30: 7件、1,679千円  
(宮澤賢治野宿地保存会、キラキラみらい☆クリエイションなど)



2 市民団体等の活動に係る周知 346千円

- 市民団体等活動紹介電子ブック作製  
市内各施設への配架、市HPへのパンフレット掲載
- 広報等による市民団体等の活動PR
- 市民への活動周知及び市民団体等の活動促進

3 職員旅費 33千円

担当者会議、研修